

## 第十四回 应试对策3

第一节 第4问的出题倾向

第二节 第4问的对策-伝票

第三节 第4问的对策-把在T字勘定上的空白处填上

第四节 第5问的出题倾向

第五节 第5问的对策-未处理事项

第六节 第5问的对策-費用収益の見越し・繰延べ



## 第一节 第4问的出题倾向



## 第4問の出題傾向

© 2017 Business Cross Bridge inc.

第4問没有定型。什么道题会出现不可以预测。

### 要点

#### 【伝票】

一部現金取引

現金范围的确认

#### 【把在T字勘定上的空白处填上】

費用収益の見越し・繰延べ

減価償却（直接法と間接法）

消耗品（費用法と資産法）

当座預金（当座預金/当座借越と当座勘定）



## 第二节 第4问的对策-伝票



## 一部現金取引-出題

© 2017 Business Cross Bridge inc.

第4問例題1: 次の各取引の伝票記入について、空欄①～④にあてはまる適切な語句または金額を答えなさい。  
ただし、いったん全額で起票する方法と、取引を分解して起票する方法のいずれかを採用しているかについては、各伝票の記入から各自判断すること。

(1) 商品を¥520,000で仕入れ、¥20,000を現金で支払い、残額は掛けとした。

出金伝票		振替伝票			
科目	金額	借方科目	金額	貸方科目	金額
仕入	①	②	( )	( )	( )

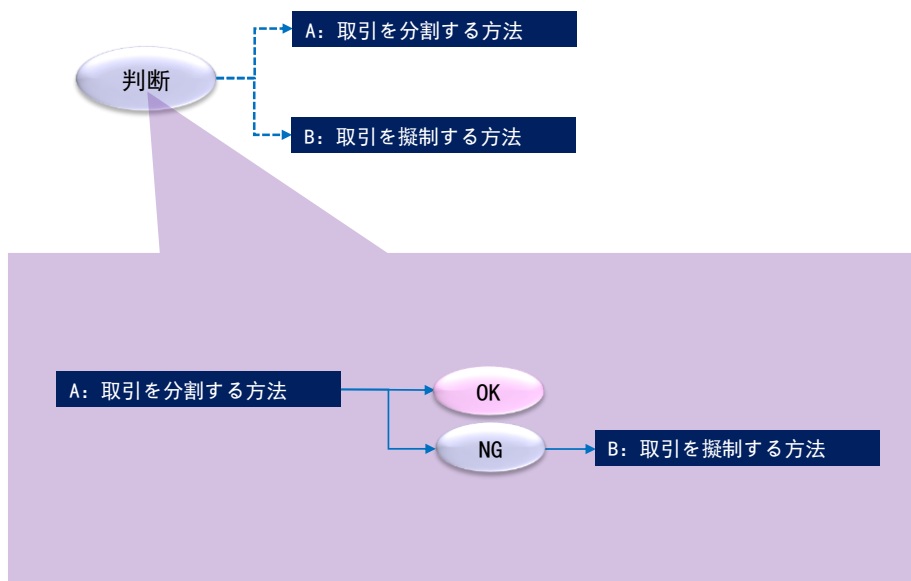
(2) 銀行から¥6,000,000を借入れ、利息¥150,000を差し引かれた¥5,850,000を現金で受け取った。

入金伝票		出金伝票	
科目	金額	科目	金額
( )	③	④	( )



## 一部現金取引-要点

© 2017 Business Cross Bridge inc.



## 一部現金取引-解答 1/2

© 2017 Business Cross Bridge inc.

(1) 商品を ¥520,000 で仕入れ、¥20,000 を現金で支払い、残額は掛けとした。

出金伝票		振替伝票			
科目	金額	借方科目	金額	貸方科目	金額
仕入	(①) 20,000	(②) 仕入	( ) 500,000	( ) 買掛金	( ) 500,000

OK

### A: 取引を分割する方法

仕訳			
借方科目	金額	貸方科目	金額
仕入	520,000	現金	20,000
		買掛金	500,000

仕訳			
借方科目	金額	貸方科目	金額
仕入	500,000	現金	20,000
仕入	20,000	買掛金	500,000

振替伝票

### B: 取引を擬制する方法

仕訳			
借方科目	金額	貸方科目	金額
仕入	520,000	現金	20,000
		買掛金	500,000

仕訳			
借方科目	金額	貸方科目	金額
仕入	520,000	現金	520,000
現金	500,000	買掛金	500,000

✗

仕訳			
借方科目	金額	貸方科目	金額
仕入	520,000	買掛金	520,000
買掛金	20,000	現金	20,000

○



## 一部現金取引-解答 2/2

© 2017 Business Cross Bridge inc.

(2) 銀行から¥6,000,000を借入れ、利息¥150,000を差し引かれた¥5,850,000を現金で受け取った。

入金伝票	
科目	金額
( )	(③)
借入金	6,000,000

出金伝票	
科目	金額
(④)	( )
支払利息	150,000

NG

### A: 取引を分割する方法

仕訳			
借方科目	金額	貸方科目	金額
現金	5,850,000	借入金	6,000,000
支払利息	150,000		

仕訳			
借方科目	金額	貸方科目	金額
現金	5,850,000	借入金	5,850,000
支払利息	150,000	借入金	150,000

振替伝票

### B: 取引を擬制する方法

仕訳			
借方科目	金額	貸方科目	金額
現金	5,850,000	借入金	6,000,000
支払利息	150,000		

仕訳			
借方科目	金額	貸方科目	金額
現金	6,000,000	借入金	6,000,000
支払利息	150,000	現金	150,000

出金伝票

仕訳			
借方科目	金額	貸方科目	金額
支払利息	6,000,000	借入金	6,000,000
現金	5,850,000	支払利息	5,850,000



## 現金范围的确认-出題

© 2017 Business Cross Bridge inc.

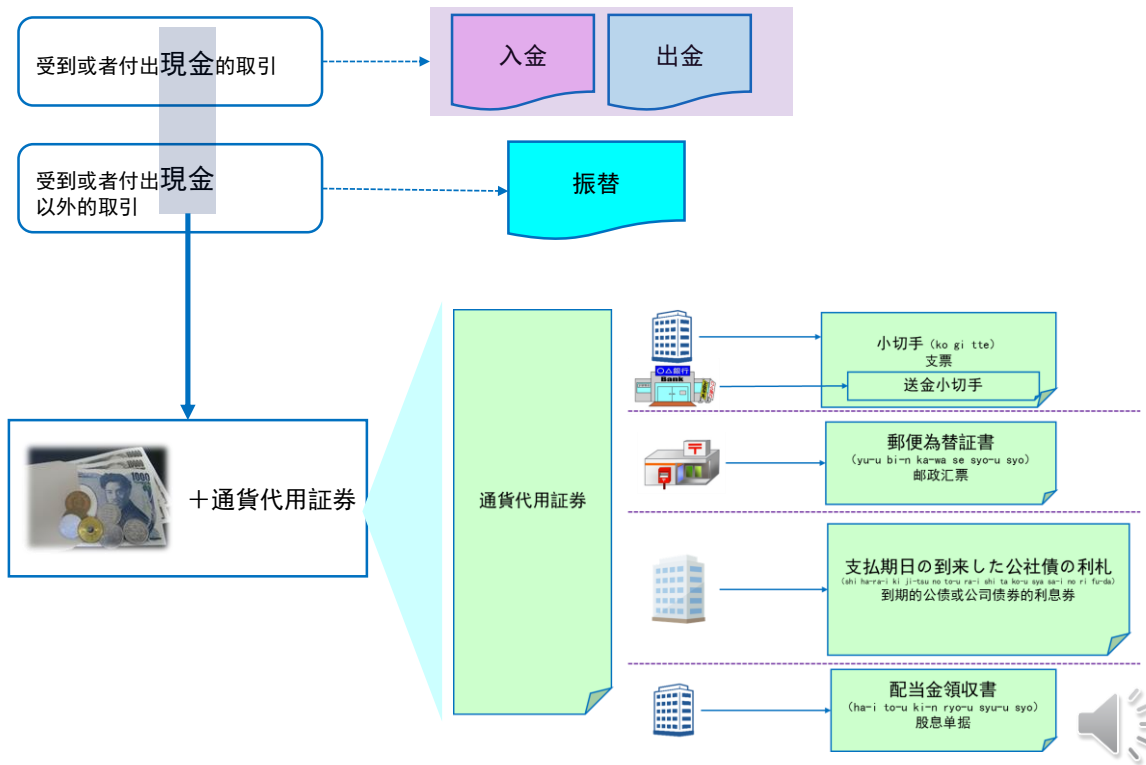
第4問例題2：次の各取引を、入金伝票、出金伝票、振替伝票を用いて記録しなさい。

- ①商品を¥200,000を仕入れ、引取費用¥1,000とともに、小切手を振り出して支払った。
- ②商品を¥200,000を売上げ、相手先から同額の小切手を受け取った。
- ③株式を保有しているA社から、¥50,000の配当金領収書を受け取った。



# 現金范围の确认-要点

© 2017 Business Cross Bridge inc.



## 現金范围的确认-解答

© 2017 Business Cross Bridge inc.

- ①商品を¥200,000を仕入れ、引取費用¥1,000とともに、小切手を振り出して支払った。

振替伝票			
借方科目	金額	貸方科目	金額
仕入	201,000	当座預金	201,000

- ②商品を¥200,000を売上げ、相手先から同額の小切手を受け取った。

入金伝票	
科目	金額
売上	200,000

- ③株式を保有しているA社から、¥50,000の配当金領収書を受け取った。

入金伝票	
科目	金額
受取配当金	50,000



## 第三节 第4问的对策 一把在T字勘定上的空白处填上



## 費用収益の見越し・繰延べ-出題

© 2017 Business Cross Bridge inc.

第4問例題3: 松山商店(決算年1回、12月31)は、毎年8月1日に1年分の家賃¥1,200,000を支払っている。  
次の支払家賃勘定について、空欄①~⑦にあてはまる適切な語句または金額を答えなさい。

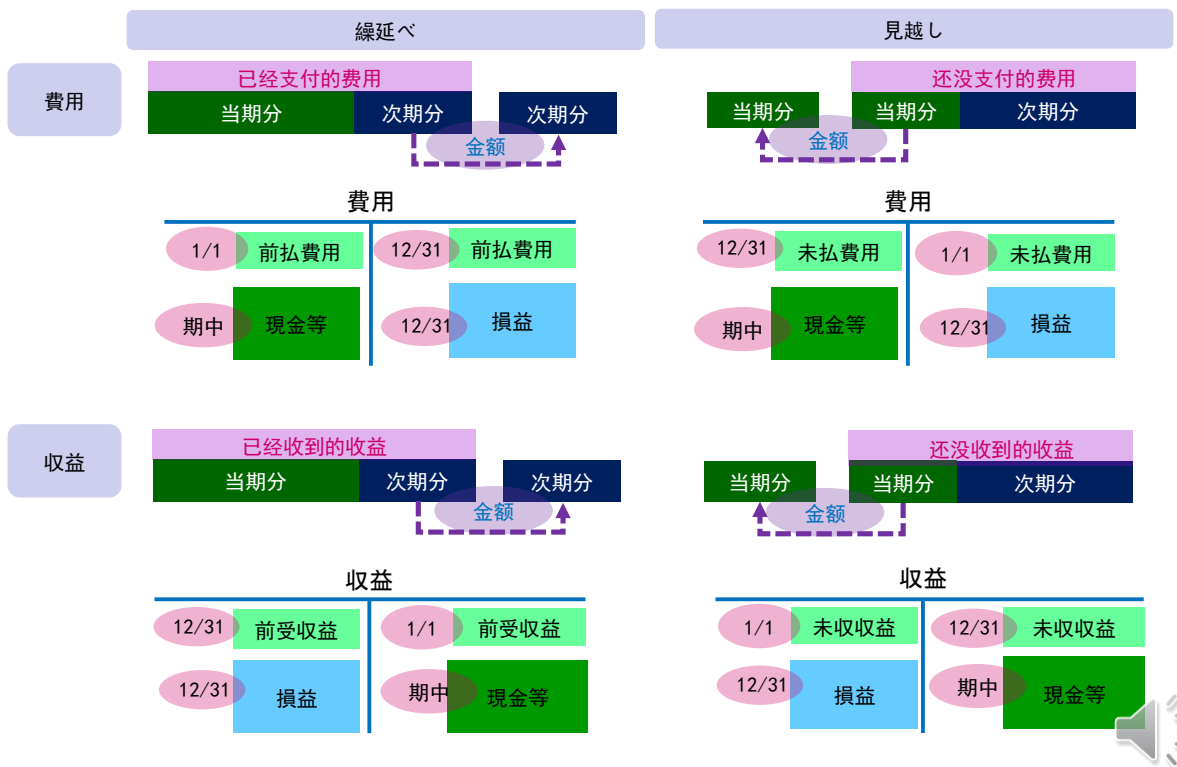
支払家賃					
1/1	(①)	(②)	12/31	(③)	(④)
8/1	当座預金	1,200,000	12/31	損益	(⑤)
		?			?
1/1	?	?			

( ? ) 家賃					
1/1	(⑥)	?	1/1	?	(⑦)
12/31	?	?	12/31	次期繰越	?
		?			?
1/1	前期繰越	?	1/1	支払家賃	?



# 費用収益の見越し・繰延べ-要点①：費用収益

© 2017 Business Cross Bridge inc.



## 費用収益の見越し・繰延べ-要点②：経過勘定

© 2017 Business Cross Bridge inc.

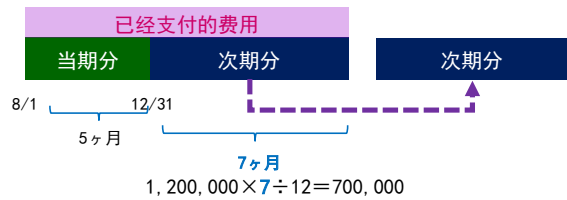


## 経過勘定-解答

© 2017 Business Cross Bridge inc.

毎年8月1日に1年分の家賃¥1,200,000を支払っている。

費用の繰延べ



支払家賃

1/1 前払家賃	700,000	12/31 前払家賃	700,000
8/1 当座預金	1,200,000	12/31 損益	1,200,000
	<u>1,900,000</u>		<u>1,900,000</u>
1/1 前払家賃	700,000		

资产

前払家賃

1/1 前期繰越	700,000	1/1 支払家賃	700,000
12/31 支払家賃	700,000	12/31 次期繰越	700,000
	<u>1,400,000</u>		<u>1,400,000</u>
1/1 前期繰越	700,000	1/1 支払家賃	700,000





## 直接法と間接法－出題

© 2017 Business Cross Bridge inc.

第4問例題4：2種類の方法で同一の処理を行っている。空欄①～③にあてはまる適切な語句または金額を答えなさい。

### A: 間接法

備品		備品減価償却費	
1/1 前期繰越	700,000	12/31 備品減価償却累計額	?
12/31 次期繰越	700,000	12/31 損益	?

備品減価償却累計額		備品減価償却費	
12/31 次期繰越	400,000	1/1 前期繰越	300,000
		12/31 備品減価償却費	?
	400,000		400,000

### B: 直接法

備品		備品減価償却費	
1/1 前期繰越	①	12/31 備品減価償却費	?
		12/31 次期繰越	②
	?		?
1/1 前期繰越	?		

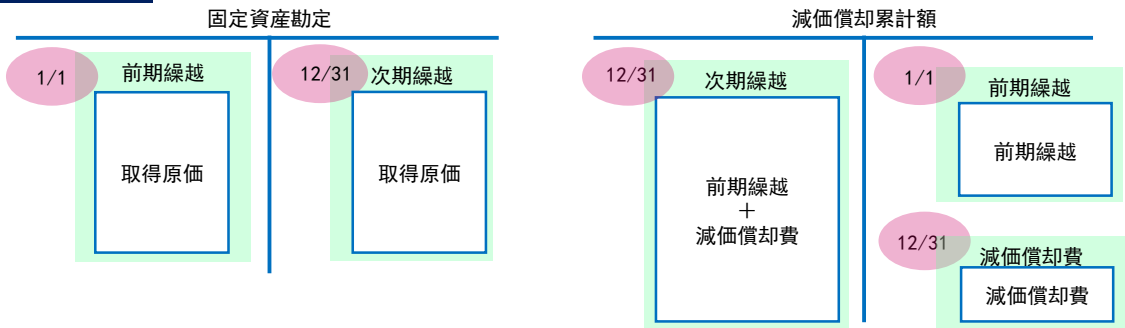
12/31	③	12/31 損益	?
	?		



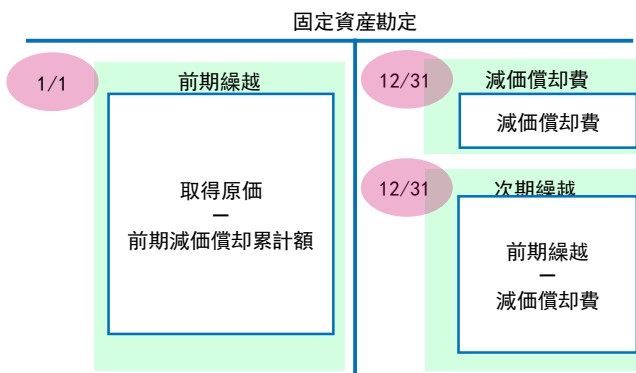
# 直接法と間接法－要点

© 2017 Business Cross Bridge inc.

## A: 間接法



## B: 直接法



## 直接法と間接法－出題

© 2017 Business Cross Bridge inc.

### A: 間接法

備品		備品減価償却費	
1/1 前期繰越	700,000	12/31 備品減価償却累計額	?
12/31 次期繰越	700,000	12/31 損益	?

備品減価償却累計額		備品減価償却費	
12/31 次期繰越	400,000	1/1 前期繰越	300,000
	400,000	12/31 備品減価償却費	?
			400,000

### B: 直接法

備品		備品減価償却費	
1/1 前期繰越	?	12/31 備品減価償却累計額	?
12/31 次期繰越	?	12/31 損益	?

1/1 前期繰越	?	12/31 備品減価償却累計額	?

取得原価－前期減価償却累計額
=700,000-300,000=400,000

取得原価－当期減価償却累計額
=700,000-400,000=300,000

備品



## 消耗品一出題

© 2017 Business Cross Bridge inc.

第4問例題5: 2種類の方法で同一の処理を行っている。空欄①にあてはまる適切な語句または金額を答えなさい。

### A: 費用法

		消耗品				消耗品費					
1/1	前期繰越	2,000	12/31	消耗品費	2,000	8/1	現金	15,000	12/31	消耗品費	2,300
12/31	消耗品費	2,300	12/31	次期繰越	2,300	12/31	消耗品費	2,000	12/31	損益	14,700
		<u>4,300</u>			<u>4,300</u>			<u>17,000</u>			<u>17,000</u>
1/1	前期繰越	2,300									

### B: 資産法

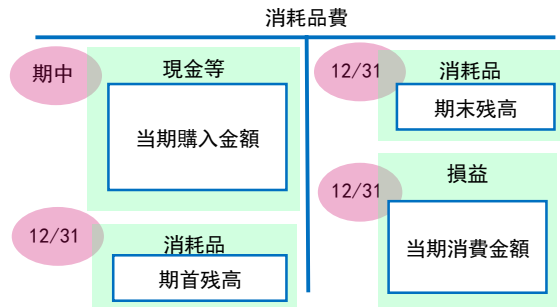
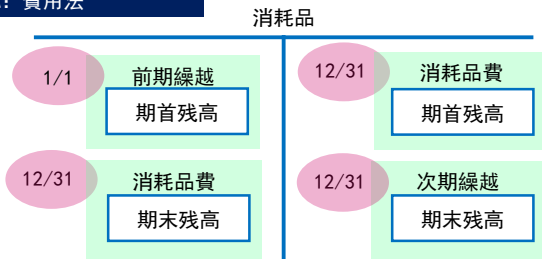
		消耗品				消耗品費		
1/1	前期繰越	2,000	12/31	消耗品費	?	12/31	消耗品	?
8/1	現金	?	12/31	次期繰越	2,300	12/31	損益	14,700
12/31	消耗品費	?			<u>?</u>			<u>?</u>
		<u>?</u>						
1/1	前期繰越	2,300						



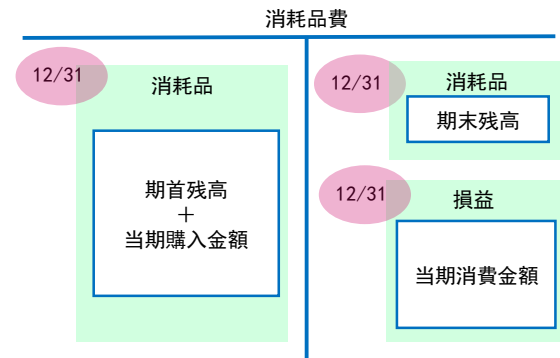
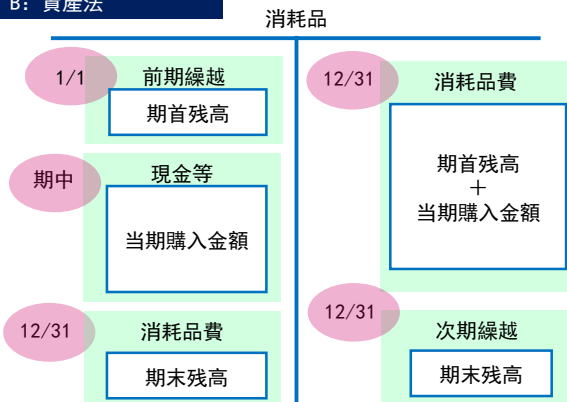
# 消耗品一要点

© 2017 Business Cross Bridge inc.

## A: 費用法



## B: 資産法



# 消耗品一解答

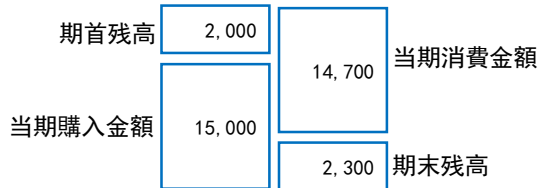
© 2017 Business Cross Bridge inc.

## A: 費用法

消耗品		消耗品費	
1/1 前期繰越	2,000	12/31 消耗品費	2,000
12/31 消耗品費	2,300	12/31 次期繰越	2,300
	<u>4,300</u>		<u>4,300</u>
1/1 前期繰越	2,300		

現金		消耗品費	
8/1 現金	15,000	12/31 消耗品費	2,300
12/31 消耗品費	2,000	12/31 損益	14,700
	<u>17,000</u>		<u>17,000</u>



## B: 資産法

消耗品		消耗品費	
1/1 前期繰越	2,000	12/31 消耗品	①
8/1 現金	?	12/31 消耗品費	2,300
12/31 消耗品費	2,300	12/31 損益	14,700
	<u>?</u>		<u>?</u>
1/1 前期繰越	2,300		

期首残高 + 当期購入金額

= 2,000 + 15,000



## 当座借越一出題

© 2017 Business Cross Bridge inc.

第4問例題6：2種類の方法で同一の処理を行っている。空欄①、②にあてはまる適切な語句または金額を答えなさい。

### A: 当座預金、当座借越

当座預金		当座借越	
1/1 前期繰越	630,000	12/11 売掛金	120,000
12/11 売掛金	380,000	6/1 支払手形	450,000
		10/20 仕入	180,000
		12/31 次期繰越	380,000
	<u>1,010,000</u>		<u>1,010,000</u>
1/1 前期繰越	380,000		

### B: 当座

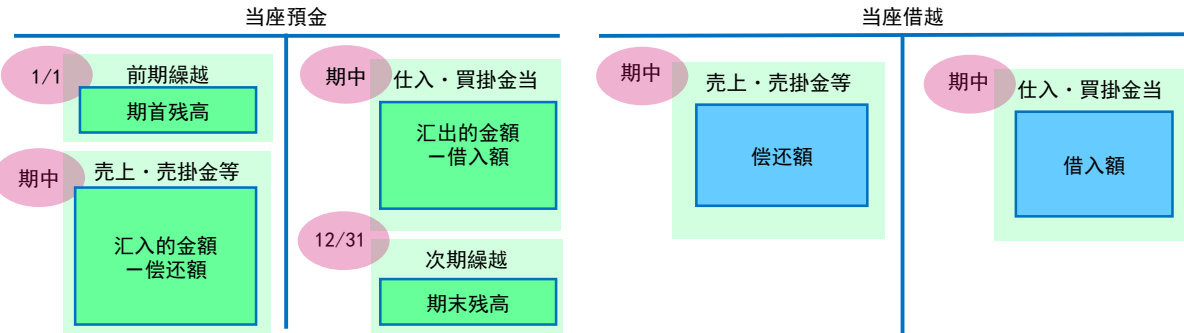
当座		当座	
1/1 前期繰越	630,000	6/1 支払手形	450,000
12/11 売掛金	②	10/20 仕入	①
		12/31 次期繰越	380,000
	<u>?</u>		<u>?</u>
1/1 前期繰越	380,000		



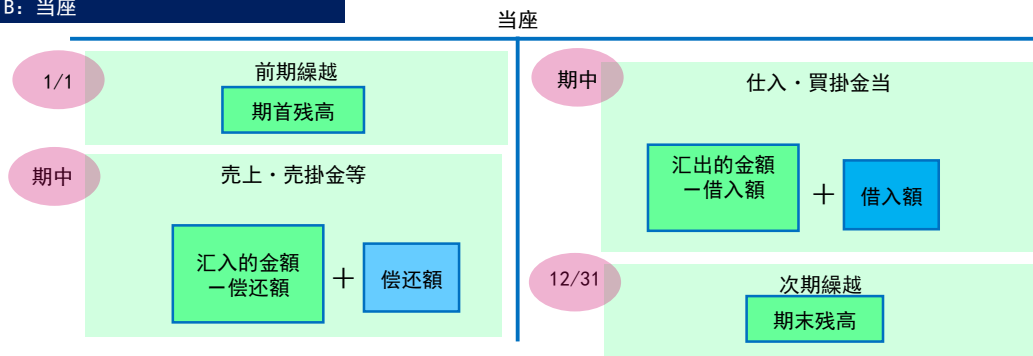
# 当座借越一要点

© 2017 Business Cross Bridge inc.

## A: 当座預金、当座借越



## B: 当座





# 当座借越一解答

© 2017 Business Cross Bridge inc.

## A: 当座預金、当座借越

当座預金			
1/1 前期繰越	630,000	6/1 支払手形	450,000
12/11 売掛金	380,000	10/20 仕入	180,000
		12/31 次期繰越	380,000
	<u>1,010,000</u>		<u>1,010,000</u>
1/1 前期繰越	380,000		

当座借越			
12/11 売掛金	<u>120,000</u>	10/20 仕入	<u>120,000</u>

## B: 当座

当座			
1/1 前期繰越	630,000	6/1 支払手形	450,000
12/11 売掛金	②	10/20 仕入	①
	?	12/31 次期繰越	380,000
	<u>?</u>		<u>?</u>
1/1 前期繰越	380,000		

当座預金借方 + 当座借越借方

$$= 380,000 + 120,000$$

$$= 500,000$$

当座預金貸方 + 当座借越貸方

$$= 180,000 + 120,000$$

$$= 300,000$$



## 第四节 第5问的出题倾向



## 第5問的对策

© 2017 Business Cross Bridge inc.

第5問是精算表、B/S&P/L作成問題（決算処理）。  
作为未处理事項, 日常处理也有可能被包括。

### 要点

第5問的结构  
費用収益の見越し・繰延

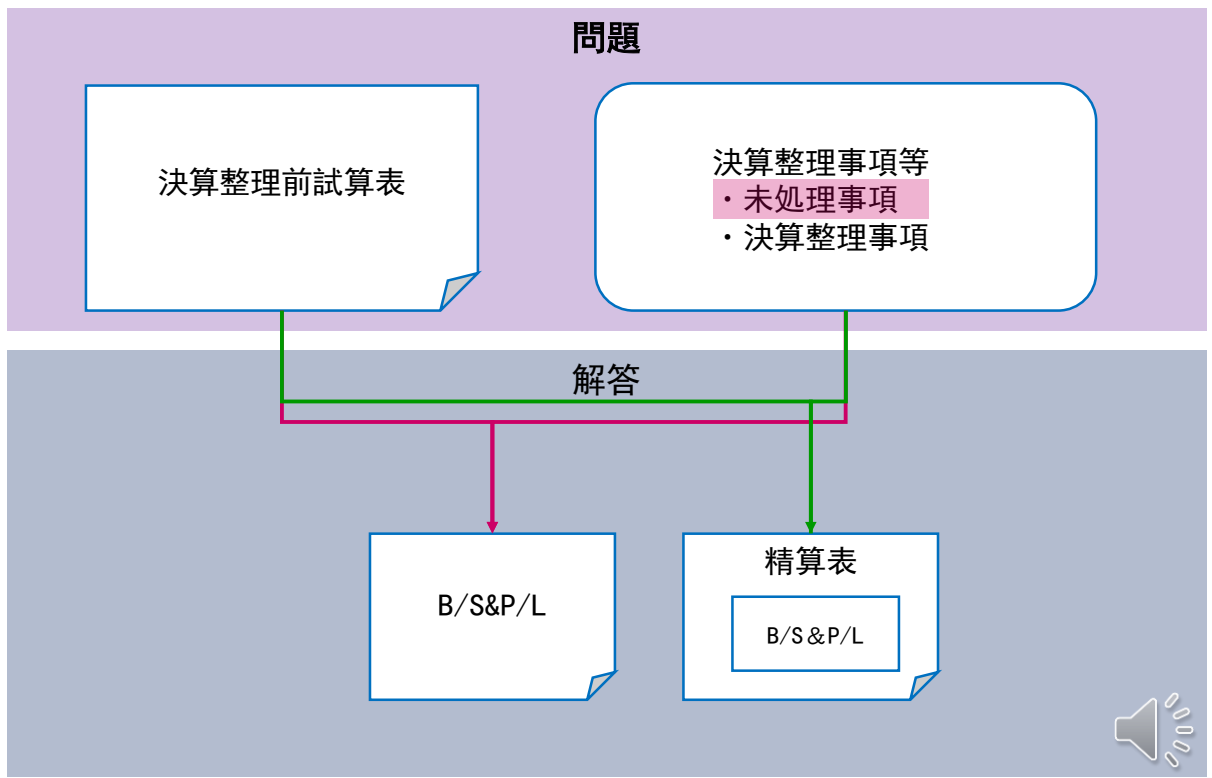


## 第五节 第5问的对策-未处理事项



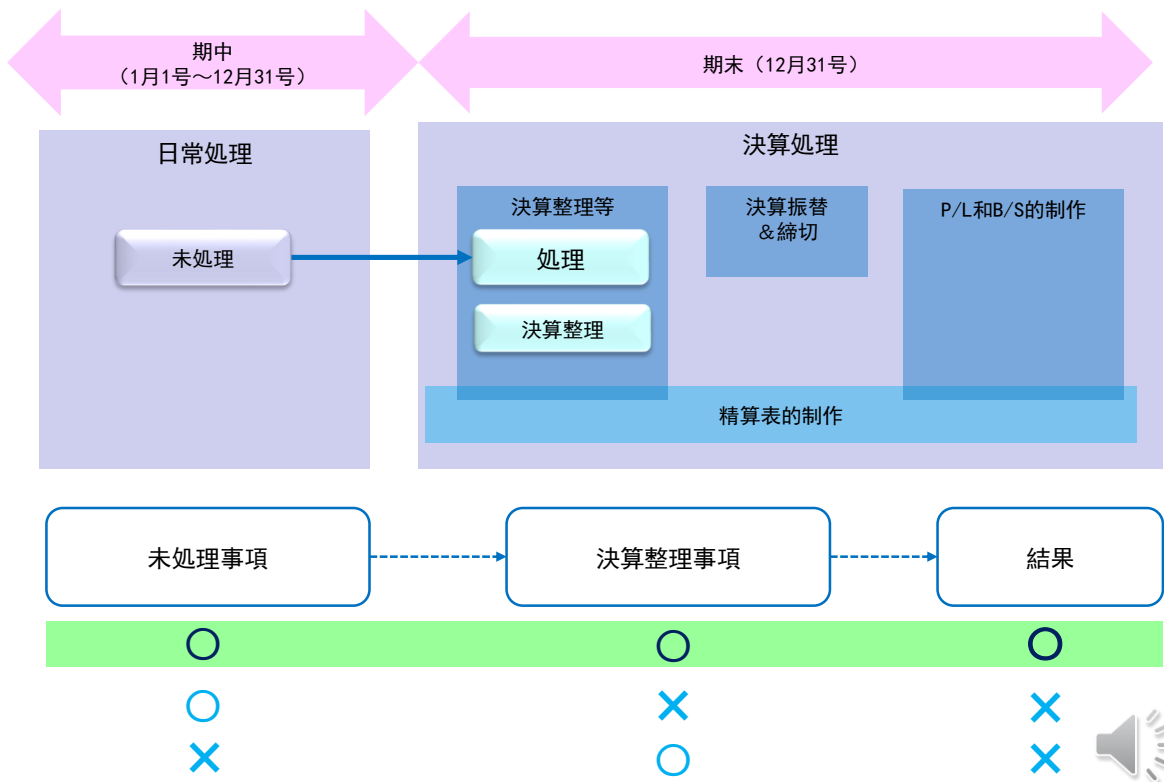
## 第5问的结构

© 2017 Business Cross Bridge inc.



# 未処理事項の意義

© 2017 Business Cross Bridge inc.



# 決算整理仕訳复习

© 2017 Business Cross Bridge inc.

把現金過不足转入雜損或者雜益

仕訳			
借方科目	金額	貸方科目	金額
雜損	100	現金過不足	100

仕訳			
借方科目	金額	貸方科目	金額
現金過不足	100	雜益	100

消耗品的费用和资产的确定

費用法 仕訳			
借方科目	金額	貸方科目	金額
消耗品費	100	消耗品	100
消耗品	200	消耗品費	200

資産法 仕訳			
借方科目	金額	貸方科目	金額
消耗品費	900	消耗品	900
消耗品	200	消耗品費	200

商品の费用和资产的确定

仕訳			
借方科目	金額	貸方科目	金額
仕入	100	繰越商品	100
繰越商品	200	仕入	200

固定資産の減価償却費記入

直接法 仕訳			
借方科目	金額	貸方科目	金額
減価償却費	100,000	備品等	100,000

間接法 仕訳			
借方科目	金額	貸方科目	金額
減価償却費	100,000	減価償却累計額	100,000

貸倒引当金の設定

仕訳			
借方科目	金額	貸方科目	金額
貸倒引当金繰入	100	貸倒引当金	100

仕訳			
借方科目	金額	貸方科目	金額
貸倒引当金	100	貸倒引当金戻入	100

费用和收益の見越し・繰延べ

仕訳			
借方科目	金額	貸方科目	金額
前払費用	100	費用	100

仕訳			
借方科目	金額	貸方科目	金額
費用	100	未払費用	100

仕訳			
借方科目	金額	貸方科目	金額
収益	100	前受収益	100

仕訳			
借方科目	金額	貸方科目	金額
未収収益	100	収益	100

把引出金转入資本金

仕訳			
借方科目	金額	貸方科目	金額
資本金	100	引出金	100



## 未処理事項給決算處理帶來影響的例子

© 2017 Business Cross Bridge inc.

### 未処理事項

現金過不足残高變動

受取手形/売掛金残高變動

固定資産残高變動（期末以外発生）

費用・収益残高變動

仕入残高變動

### 決算整理事項

把現金過不足轉入雜損或者雜益

貸倒引當金的設定

固定資産的減價償却費記入

費用和收益的見越し・繰延べ

商品的费用和資產的確定





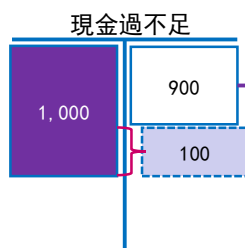
# 給決算処理带来影响的—現金過不足残高変動

© 2017 Business Cross Bridge inc.

## 未処理事項

出張にともなう従業員仮払金の精算が未記帳であった。従業員より、仮払金10万円のうち残った1千円を現金で受領している。

仕訳			
借方科目	金額	貸方科目	金額
旅費交通費	99,000	従業員仮払金	100,000
現金過不足	1,000		



## 決算整理事項

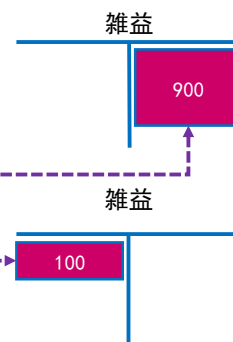
把現金過不足转入雑損或者雑益

×

仕訳			
借方科目	金額	貸方科目	金額
現金過不足	900	雑益	900

○

仕訳			
借方科目	金額	貸方科目	金額
雑損	100	現金過不足	100



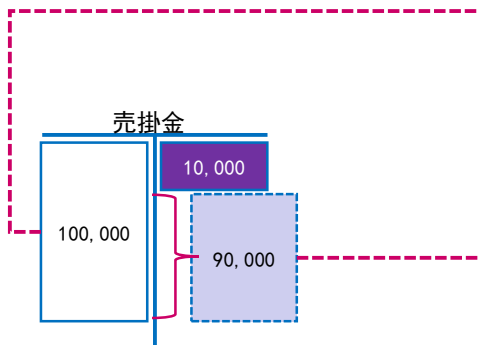
# 给決算処理带来影响的—売上債権残高変動

© 2017 Business Cross Bridge inc.

## 未処理事項

仮受金1万円は、売掛金の回収であることが判明した。

仕訳			
借方科目	金額	貸方科目	金額
仮受金	10,000	売掛金	10,000



## 決算整理事項

### 貸倒引当金の設定

売掛金の期末残高に対して、5%の貸倒引当金を設定する。

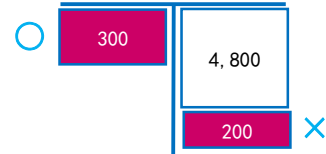
$10万円 \times 5\% = 5千円$  ❌

仕訳			
借方科目	金額	貸方科目	金額
貸倒引当金繰入	200	貸倒引当金	200

$9万円 \times 5\% = 4千5百円$  ⓪

仕訳			
借方科目	金額	貸方科目	金額
貸倒引当金	300	貸倒引当金戻入	300

### 貸倒引当金



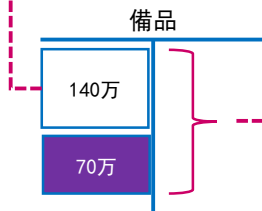
# 未処理事項給決算処理带来的影响—固定資産残高変動

© 2017 Business Cross Bridge inc.

## 未処理事項

10月1日、備品70万円を現金で購入したが、未記帳である。

仕訳			
借方科目	金額	貸方科目	金額
備品	700,000	現金	700,000



期末に備品70万円を現金で購入したが、未記帳である。

## 決算整理事項

### 固定資産的減価償却費記入

備品については、耐用年数7年、残存価格ゼロの定額法で、減価償却費を計上する。

$$140\text{万円} \div 7 = 20\text{万円}$$



仕訳			
借方科目	金額	貸方科目	金額
減価償却費	200,000	減価償却累計額	200,000

$$20\text{万円} + 70\text{万円} \div 7 \div 12 \times 3 = 22.5\text{万円}$$



仕訳			
借方科目	金額	貸方科目	金額
減価償却費	225,000	減価償却累計額	225,000



## 給決算処理带来影响的－費用収益残高変動

© 2017 Business Cross Bridge inc.

### 未処理事項

現金過不足の原因を調査したところ、家賃1万8千円を現金で支払ったが、誤って、1万9千円と記帳したことが判明した。

仕訳			
借方科目	金額	貸方科目	金額
現金過不足	1,000	支払家賃	1,000

### 決算整理事項

費用収益の見越し・繰延べ

支払家賃のうち2千円を見越し計上する。

仕訳			
借方科目	金額	貸方科目	金額
支払家賃	2,000	未払家賃	2,000

### 支払家賃

	1,000
2,000	



## 给決算処理带来影响的—仕入残高変動

© 2017 Business Cross Bridge inc.

### 未処理事項

掛仕入について、仕入値引500円を行ったが未記帳である。

仕訳			
借方科目	金額	貸方科目	金額
買掛金	500	仕入	500

### 決算整理事項

商品的費用和资产的确定

商品の期末棚卸高は1,500円である。

仕訳			
借方科目	金額	貸方科目	金額
仕入	1,000	繰越商品	1,000
繰越商品	1,500	仕入	1,500

繰越商品		仕入	
1,000	1,000		500
1,500			1,500
		1,000	



# 补充说明: 期末現金実査

© 2017 Business Cross Bridge inc.

期中

日常処理

現金実査

仕訳			
借方科目	金額	貸方科目	金額
現金過不足	1,000	現金	1,000

期末

決算整理事項

原因判明部分

仕訳			
借方科目	金額	貸方科目	金額
租税公課	600	現金過不足	600

原因不明部分

仕訳			
借方科目	金額	貸方科目	金額
雑損失	400	現金過不足	400

期末

未処理事項

現金実査

仕訳			
借方科目	金額	貸方科目	金額
現金過不足	1,000	現金	1,000

原因判明部分

仕訳			
借方科目	金額	貸方科目	金額
租税公課	600	現金過不足	600

原因不明部分

雑損失	400	現金過不足	400
-----	-----	-------	-----

勘定科目	精算表							
	残高試算表		修正記入		損益計算書		貸借対照表	
	借方	貸方	借方	貸方	借方	貸方	借方	貸方
現金	200,000							
現金過不足	1,000		988					
当座預金	1,100,000							
受取手形	2,300,000							
売掛金	1,500,000							
仮払金	10,000							
仮受金		600,000						
貸倒引当金		160,000						
資本金		2,940,000						
売上		6,001,000						
仕入	4,500,000							
租税公課	90,000		600		90,600			
	9,701,000	9,701,000						
雑損失			400			400		

勘定科目	精算表							
	残高試算表		修正記入		損益計算書		貸借対照表	
	借方	貸方	借方	貸方	借方	貸方	借方	貸方
現金	201,000			1,000			200,000	
当座預金	1,100,000							
受取手形	2,300,000							
売掛金	1,500,000							
仮払金	10,000							
仮受金		600,000						
貸倒引当金		160,000						
資本金		2,940,000						
売上		6,000,000						
仕入	4,500,000							
租税公課	90,000		600		90,600			
	9,701,000	9,701,000						
雑損失			400			400		



## 未処理事項例題-出題

© 2017 Business Cross Bridge inc.

以下の決算整理事項等に基づいて、精算表を完成させなさい。

<決算整理事項等>

- ①現金実査を行ったところ、実際残高が帳簿残高より¥3,000過小であった。原因の一部は、以下②であることが判明した。  
(残りの残高は雑損または雑益に振り替える)
- ②従業員の出張費(旅費)の精算を行ったが、未記帳であった。従業員には、仮払金¥10,000との差額¥3,200をすでに現金で支給済である。
- ③仮受金処理していた当座預金への振り込み¥250,000は、売掛金回収であったことが判明した。
- ④受取手形および売掛金の期末残高に対して6%の貸倒引当金を見積もる(差額補充法)。

①～③: 未処理事項

④: 決算整理事項

勘定科目	残高試算表		修正記入		損益計算書		貸借対照表	
	借方	貸方	借方	貸方	借方	貸方	借方	貸方
現金	200,000							
当座預金	1,100,000							
受取手形	2,300,000							
売掛金	1,500,000							
仮払金	10,000							
仮受金		600,000						
貸倒引当金		160,000						
資本金		2,940,000						
売上		6,000,000						
仕入	4,500,000							
旅費交通費	90,000							
	9,700,000	9,700,000						




## 未処理事項例題-解答 1/2

© 2017 Business Cross Bridge inc.

- ①現金実査を行ったところ、実際残高が帳簿残高より¥3,000過小であった。原因の一部は、以下②であることが判明した。  
 (残りの残高は雑損または雑益に振り替える)
- ②従業員の出張費(交通費)の精算を行ったが、未記帳であった。従業員には、仮払金¥10,000との差額¥3,200をすでに現金で支給済である。

3,000	帳簿 残高	仕訳			
実際 残高		借方科目	金額	貸方科目	金額
		<del>現金過不足</del>	<del>3,000</del>	現金	3,000

 仮払い	仕訳			
	借方科目	金額	貸方科目	金額
	仮払金	10,000	現金	10,000

 精算	仕訳			
	借方科目	金額	貸方科目	金額
	旅費交通費	13,200	仮払金	10,000
			<del>現金過不足</del>	<del>3,200</del>

現金過不足		仕訳			
3,000	3,200	借方科目	金額	貸方科目	金額
200		<del>現金過不足</del>	<del>200</del>	雑益	200

勘定科目	残高試算表		修正記入		損益計算書		貸借対照表	
	借方	貸方	借方	貸方	借方	貸方	借方	貸方
現金	200,000			3,000			177,000	
当座預金	1,100,000							
受取手形	2,300,000							
売掛金	1,500,000							
仮払金	10,000			10,000				
仮受金		600,000						
貸倒引当金		160,000						
資本金		2,940,000						
売上		6,000,000						
仕入	4,500,000							
旅費交通費	90,000		13,200		103,200			
	9,700,000	9,700,000						
雑益				200		200		





## 未処理事項例題-解答 2/2

© 2017 Business Cross Bridge inc.

- ③ 仮受金処理していた当座預金への振り込み ¥600,000 は、売掛金回収であったことが判明した。  
 ④ 受取手形および売掛金の期末残高に対して6%の貸倒引当金を見積もる（差額補充法）。

仕訳			
借方科目	金額	貸方科目	金額
当座預金	600,000	仮受金	600,000
仮受金	600,000	売掛金	600,000

仕訳			
借方科目	金額	貸方科目	金額
貸倒引当金繰入	32,000	貸倒引当金	32,000

$$(2,300,000 + 1,500,000 - 600,000) \times 6\% = 192,000$$

$$192,000 - 160,000 = 32,000$$

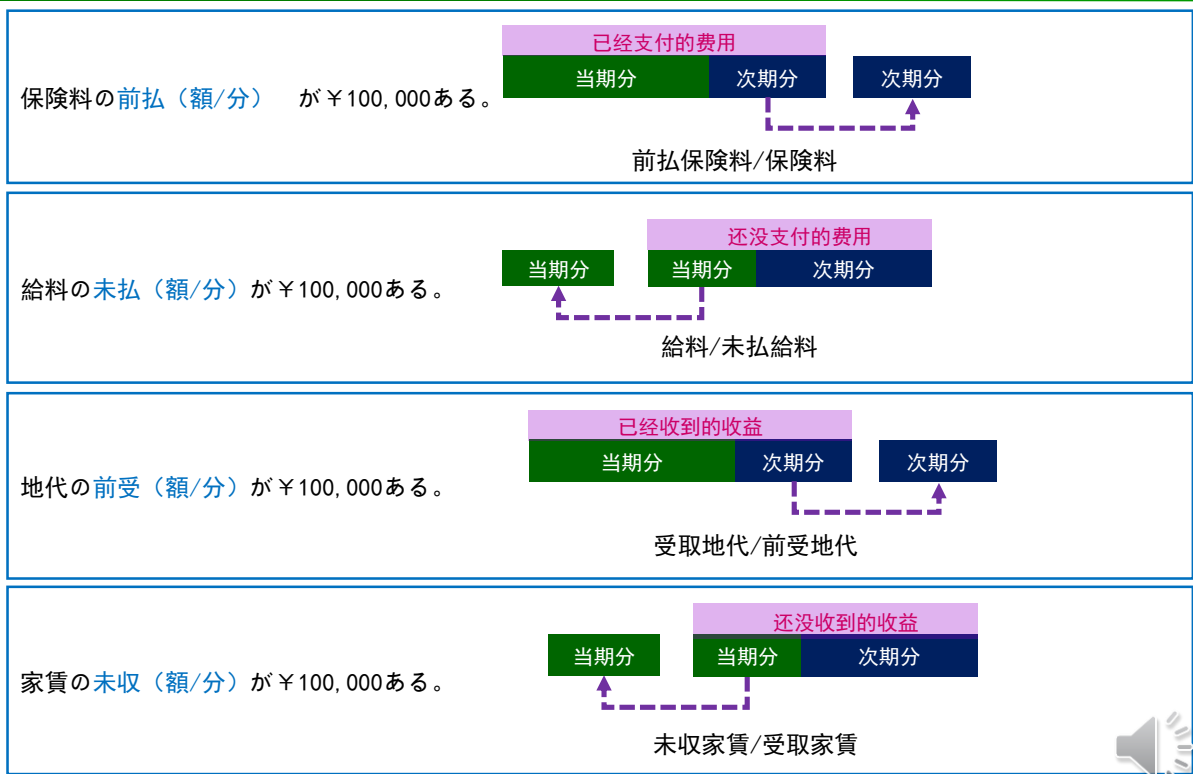
勘定科目	残高試算表		修正記入		損益計算書		貸借対照表	
	借方	貸方	借方	貸方	借方	貸方	借方	貸方
現金	200,000			3,000			197,000	
当座預金	1,100,000						1,100,000	
受取手形	2,300,000			600,000			2,300,000	
売掛金	1,500,000			10,000			900,000	
仮払金	10,000							
仮受金		600,000	600,000					
貸倒引当金		160,000		32,000				192,000
資本金		2,940,000						2,940,000
売上		6,000,000				6,000,000		
仕入	4,500,000				4,500,000			
旅費交通費	90,000		13,200		103,200			
	9,700,000	9,700,000						
雑益				200		200		
貸倒引当金繰入			32,000		32,000			
当期純利益					1,365,000			1,365,000
			645,200	645,200	6,000,200	6,000,200	4,497,000	4,497,000

## 第六节 費用収益の見越し・繰延べ



## 費用収益の見越し・繰延べー利息以外 1/3

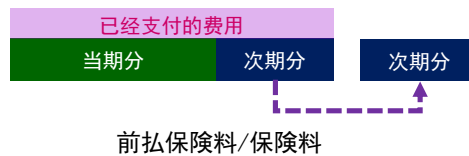
© 2017 Business Cross Bridge inc.



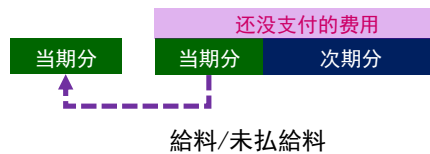
## 費用収益の見越し・繰延べー利息以外 2/3

© 2017 Business Cross Bridge inc.

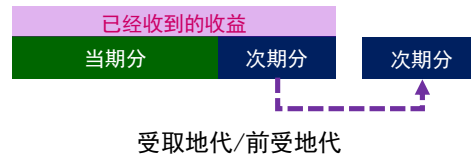
支払保険料について¥100,000の未経過分がある。



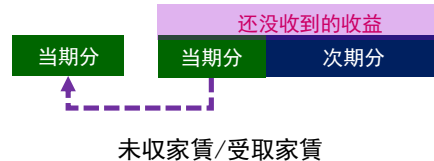
支払給料についての¥100,000の経過分がある。



受取地代について¥100,000の未経過分がある。



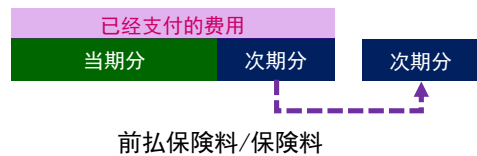
受取家賃についての¥100,000の経過分がある。



## 費用収益の見越し・繰延べー利息以外 3/3

© 2017 Business Cross Bridge inc.

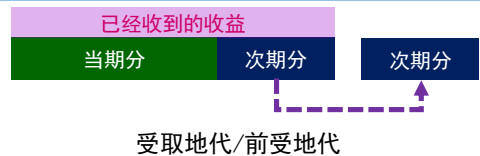
2月1日に1年分の保険料¥1,200,000を支払った。



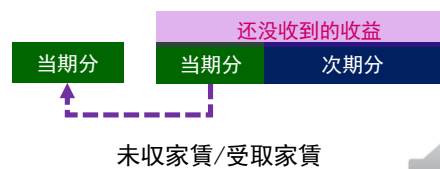
当月の残業代¥100,000は翌月支払う契約となっている。



地代は2月1日に一括して1年分¥1,200,000を受け取っている。


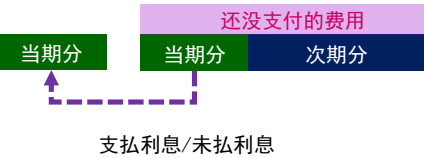

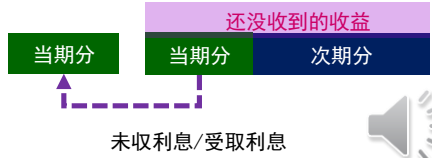


家賃月額¥100,000は1か月遅れで受け取る契約となっている。



## 費用収益の見越し・繰延べー利息

© 2017 Business Cross Bridge inc.

借入金	<p>利息は借入時に一括して支払っている。</p>  <p>已经支付的费用 当期分 次期分 次期分 前払利息/支払利息</p>
	<p>・利息は返済時に一括して支払うことになっている。 ・利払日は次期 ・利払日までの利息が計上されている。</p>  <p>还没支付的费用 当期分 当期分 次期分 支払利息/未払利息</p>
貸付金 預金	<p>利息は貸付時に一括して受け取っている。</p>  <p>已经收到的收益 当期分 次期分 次期分 受取利息/前受利息</p>
	<p>・利息は返済時に一括して受け取ることになっている。 ・利払日は次期（受取） ・利払日までの利息が計上されている。（受取）</p>  <p>还没收到的收益 当期分 当期分 次期分 未收利息/受取利息</p>

## 第六节 第五问 例题



## 例題1-出題 1/2

© 2017 Business Cross Bridge inc.

次の決算整理事項等に基づいて、精算表を完成させなさい。

### <決算整理事項等>

- ① 金庫の中に以下のものが保管されていた。

紙幣・硬貨	¥	418,000
他店振出しの小切手	¥	32,000
郵便切手・収入印紙	¥	800
期日が到来した国債の利札	¥	50,000
郵便為替証書	¥	45,000
配当金領収書	¥	25,000

原因を調査したところ、消耗品¥1,200購入時に、誤って¥2,100で処理したことが判明した。

- ② 仕入先から¥5,000の値引を受けた（買掛金で処理する）が、まだ処理されていない。
- ③ 得意先の倒産により、¥150,000の売掛金が回収不能となったが、まだ処理されていない。
- ④ 12月1日に、備品¥250,000を購入し、代金は小切手で支払ったが、まだ処理されていない。そのほかの備品は前期以前から存在している。
- ⑤ 消耗品の未使用残高が¥18,000であることが判明した。
- ⑥ 期末商品棚卸高が¥86,000であることが判明した。
- ⑦ 備品については、耐用年数5年、残存価格10%の定額法により、減価償却を行う。
- ⑧ 受取手形および売掛金の期末残高に対して6%の貸倒引当金を見積もる。
- ⑨ 給料の未払分¥25,000がある。
- ⑩ 家賃は、奇数月の月末に向こう2カ月分として¥400,000を支払っている。
- ⑪ 引出金について、適正な処理を行う。





# 例題1-出題 2/2

© 2017 Business Cross Bridge inc.

精算表

勘定科目	残高試算表		修正記入		損益計算書		貸借対照表	
	借方	貸方	借方	貸方	借方	貸方	借方	貸方
現金	569,100							
当座預金	570,000							
受取手形	830,000							
売掛金	920,000							
繰越商品	98,000							
消耗品	21,000							
備品	770,000							
支払手形		336,000						
買掛金		570,000						
貸倒引当金		105,000						
備品減価償却累計額		462,000						
資本金		3,300,000						
引出金	44,000							
売上		7,718,100						
仕入	4,870,000							
給料	1,125,000							
支払家賃	2,600,000							
消耗品費	74,000							
	12,491,100	12,491,100						
備品減価償却費								
貸倒 ( )								
貸倒 ( )								
( ) 給料								
( ) 家賃								



## 例題1-解答 1/5

© 2017 Business Cross Bridge inc.

現金実査 (消耗品購入訂正)  仕入値引 買掛金 貸倒れ 売掛金 備品購入 小切手 消耗品残高 商品残高 備品償却方法 貸倒引当金設定 見越し繰延べ 給料 見越し繰延べ 家賃 ✓ 引当金 資本金	① 金庫の中に以下のものが保管されていた。		
	紙幣・硬貨	¥	418,000
	他店振出しの小切手	¥	32,000
	郵便切手・収入印紙	¥	800
	期日が到来した国債の利札	¥	50,000
	郵便為替証書	¥	45,000
	配当金領収書	¥	25,000
	原因を調査したところ、消耗品¥1,200購入時に、誤って¥2,100で処理したことが判明した。		
	② 仕入先から¥5,000の値引を受けた(買掛金で処理する)が、まだ処理されていない。		
	③ 得意先の倒産により、¥150,000の売掛金が回収不能となったが、まだ処理されていない。		
	④ 12月1日に、備品¥250,000を購入し、代金は小切手で支払ったが、まだ処理されていない。そのほかの備品は前期以前から存在している。		
⑤ 消耗品の未使用残高が¥18,000であることが判明した。			
⑥ 期末商品棚卸高が¥86,000であることが判明した。			
⑦ 備品については、耐用年数5年、残存価格10%の定額法により、減価償却を行う。			
⑧ 受取手形および売掛金の期末残高に対して6%の貸倒引当金を見積もる。			
⑨ 給料の未払分¥25,000がある。			
⑩ 家賃は、奇数月の月末に向こう2カ月分として¥400,000を支払っている。			
⑪ 引出金について、適正な処理を行う。			

引当金 資本金 ⑪ 引出金について、適正な処理を行う。

勘定科目	残高試算表		修正記入		損益計算書		貸借対照表	
	借方	貸方	借方	貸方	借方	貸方	借方	貸方
資本金		1,300,000	44,000					1,256,000
引出金	44,000			44,000				



## 例題1-解答 2/5

© 2017 Business Cross Bridge inc.

✓見越繰延べ 給料 ⑨ 給料の未払分 ¥25,000がある

支払不足：費用の見越し 支払給料/未払給料

还没支付的费用

			当期分	当期分	次期分		
給料	1,125,000		25,000		1,150,000		
(未払)給料	12,491,100	12,491,100		25,000			25,000

✓見越繰延べ 家賃 ⑩ 家賃は、奇数月の月末に向こう2カ月分として ¥400,000を支払っている。

过度支付：費用の繰延べ 前払家賃/支払家賃

已经支付的费用

1个月的金額  $\frac{¥400,000}{2\text{个月}}$  × 下期的部分 1个月

$400,000 \div 2 \times 1 = 200,000$

			当期分	次期分	次期分	
支払家賃	2,600,000		200,000	2,400,000		
(前払)家賃	12,491,100	12,491,100			200,000	200,000

✓仕入値引 買掛金 ② 仕入先から5,000の値引を受けた(買掛金で処理する)が、まだ処理されていない。

✓商品残高 ⑥ 期末商品棚卸高が ¥86,000であること判明した。

勘定科目	残高試算表		修正記入		損益計算書		貸借対照表	
	借方	貸方	借方	貸方	借方	貸方	借方	貸方
買掛金		570,000	5,000					565,000
繰越商品	98,000		86,000	98,000			86,000	
仕入	4,870,000		98,000	5,000	4,877,000			
				86,000				



## 例題1-解答 3/5

© 2017 Business Cross Bridge inc.

- ✓貸倒れ 売掛金 ③ 得意先の倒産により、¥150,000の売掛金が回収不能となったが、まだ処理されていない。
- ✓貸倒引当金設定 ⑧ 受取手形および売掛金の期末残高に対して6%の貸倒引当金を見積もる。

勘定科目	残高試算表		修正記入		損益計算書		貸借対照表	
	借方	貸方	借方	貸方	借方	貸方	借方	貸方
受取手形	830,000						830,000	
売掛金	920,000			150,000			770,000	
貸倒引当金		105,000	105,000	96,000				96,000
	12,491,100	12,491,100						
貸倒（損失）			45,000		45,000			
貸倒（引当金繰入額）			96,000		96,000			

貸倒引当金繰入額	$(830,000 + 920,000 - 150,000) \times 0.06 = 96,000$
----------	--

- ✓備品購入 小切手 ④ 12月1日に、備品¥250,000を購入し、代金は小切手で支払ったが、まだ処理されていない。そのほかの備品は前期以前から存在している。
- ✓備品償却方法 ⑦ 備品については、耐用年数5年、残存価格10%の定額法により、減価償却を行う。

勘定科目	残高試算表		修正記入		損益計算書		貸借対照表	
	借方	貸方	借方	貸方	借方	貸方	借方	貸方
当座預金	570,000			250,000			320,000	
備品	770,000		250,000				1,020,000	
備品減価償却累計額		462,000		142,350				604,350
	12,491,100	12,491,100						
備品減価償却費			142,350		142,350			

備品減価償却費	当期購入	$250,000 \times 0.9 \div 5 \div 12 \times 1 = 3,750$
	前期以前購入	$770,000 \times 0.9 \div 5 = 138,600$
	合計	142,350



# 例題1-解答 4/5

© 2017 Business Cross Bridge inc.

現金実査 (消耗品購入訂正)	① 金庫の中に以下のものが保管されていた。	¥ 418,000	現金	現金合計: ¥570,000
	紙幣・硬貨	¥ 32,000	現金	
他店振出しの小切手	¥ 800	消耗品		
郵便切手・収入印紙	¥ 50,000	現金		
期日が到来した国債の利札	¥ 45,000	現金		
郵便為替証書	¥ 25,000	現金		
配当金領収書				
原因を調査したところ、消耗品¥1,200購入時に、誤って¥2,100で処理したことが判明した。				
✓ 消耗品残高	⑤ 消耗品の未使用残高が¥18,000であることが判明した。			現金勘定残高: ¥569,100

仕訳			
借方科目	金額	貸方科目	金額
現金	900	現金過不足	900

仕訳			
借方科目	金額	貸方科目	金額
消耗品費	2,100	現金	2,100

仕訳			
借方科目	金額	貸方科目	金額
現金過不足	2,100	消耗品費	2,100

仕訳			
借方科目	金額	貸方科目	金額
消耗品費	1,200	現金過不足	1,200

勘定科目	残高試算表		修正記入		損益計算書		貸借対照表	
	借方	貸方	借方	貸方	借方	貸方	借方	貸方
現金	569,100		900				570,000	
消耗品	21,000		18,000	21,000			18,000	
消耗品費	74,000		1,200	2,100	76,100			
			21,000	18,000				



# 例题1-解答 5/5

© 2017 Business Cross Bridge inc.

精算表

勘定科目	残高試算表		修正記入		損益計算書		貸借対照表	
	借方	貸方	借方	貸方	借方	貸方	借方	貸方
現金	569,100		900				570,000	
当座預金	570,000			250,000			320,000	
受取手形	830,000						830,000	
売掛金	920,000			150,000			770,000	
繰越商品	98,000		86,000	98,000			86,000	
消耗品	21,000		18,000	21,000			18,000	
備品	770,000		250,000				1,020,000	
支払手形		336,000						336,000
買掛金		570,000	5,000					565,000
貸倒引当金		105,000	105,000	96,000				96,000
備品減価償却累計額		462,000		142,350				604,350
資本金		1,300,000	44,000					1,256,000
引出金	44,000			44,000				
売上		9,718,100				9,718,100		
仕入	4,870,000		98,000	91,000	4,877,000			
給料	1,125,000		25,000		1,150,000			
支払家賃	2,600,000			200,000	2,400,000			
消耗品費	74,000		21,000	18,900	76,100			
	12,491,100	12,491,100						
備品減価償却費			142,350		142,350			
貸倒(損失)			45,000		45,000			
貸倒(引当金繰入額)			96,000		96,000			
(未払)給料				25,000				25,000
(前払)家賃			200,000				200,000	
当期純利益					931,650			931,650
			1,136,250	1,136,250	9,718,100	9,718,100	3,814,000	3,814,000



## 例題2-出題 1/3

© 2017 Business Cross Bridge inc.

次の決算整理前残高試算表と決算整理事項等に基づいて、貸借対照表、損益計算書を完成させなさい。

決算整理前残高試算表  
平成〇〇年12月31日

借方 残高	勘定科目	貸方 残高
117,000	現金	
	現金過不足	600
250,000	当座預金	
380,000	受取手形	
270,000	売掛金	
500,000	貸付金	
15,000	仮払金	
34,000	繰越商品	
21,000	消耗品	
750,000	備品	
	支払手形	292,550
	買掛金	182,700
	仮受金	60,000
	借入金	50,000
	貸倒引当金	26,000
	備品減価償却累計額	220,000
	資本金	1,000,000
	売上	1,042,000
456,000	仕入	
5,400	支払利息	1,350
76,800	旅費交通費	
2,875,200		2,875,200



## 例題2-出題 2/3

© 2017 Business Cross Bridge inc.

### 決算整理事項等

①	現金過不足の原因の一部は、②の仮払精算未記帳であることがわかったが、その他の原因は不明である。
②	仮払金残高のうち、¥10,000は、従業員の出張（旅費交通費で処理する）のためのものである。従業員から現金で¥500の支払いを受けているが、精算処理が未記帳であった。 残りの¥5,000は収入印紙を購入したものであることが判明した。期末に未使用のものは残っていない。
③	仮受金残高のうち、¥50,000は得意先からの売掛金の回収であり、残額は、前期に貸倒れとして処理された、売掛金の回収であることが判明した。
④	かつて振り出した約束手形¥280,000が満期日を迎え、当座預金から決済されたが、未記帳であった。当店は取引銀行と、¥500,000を限度とする当座借越契約を結んでいる。
⑤	12月1日に備品の一部（取得原価¥240,000、減価償却累計額¥70,000）を売却したが、未記帳であった。代金¥120,000は翌年1月に回収することになっている。
⑥	受取手形および売掛金の期末残高に対して4%の貸倒引当金を見積もる。
⑦	期末商品棚卸高は、¥42,000であった。
⑧	消耗品の未消費残高は、¥2,600であった。購入時に消耗品勘定で処理する方法を採用している。
⑨	備品については全て、耐用年数5年、残存価格ゼロの定額法により、減価償却を行う。
⑩	貸付金は全て、当期の6月1日に期間1年、金利15%で貸し付けたものである。利息は元本返済時に一括して受け取る。
⑪	借入金は全て前期10月1日において、期間5年、年利税率10.8%、利払日は、3月31日と9月30日の条件で借り入れたものである。9月30日までの利息が計上されている。利息について適正な処理を行う。





例題2-出題 3/3

© 2017 Business Cross Bridge inc.

損益計算書

平成〇〇年 1月1日～12月31日

(単位: 円)

売上原価		売上高	1,042,000
支払利息		受取利息	
旅費交通費		( )	
( )		( )	
減価償却費		( )	
消耗品費			
固定資産売却損			
当期純利益			

貸借対照表

平成〇〇年 12月31日

(単位: 円)

現金	117,000	支払手形	
受取手形	380,000	買掛金	182,700
貸倒引当金		借入金	
売掛金		未払費用	
貸倒引当金		資本金	1,000,000
未収入金		当期純利益	
貸付金	500,000		
未収収益			
商品			
消耗品			
備品			
減価償却累計額			



## 例題2-解答 1/8

© 2017 Business Cross Bridge inc.

現金実査	④ 現金過不足の原因の一部は、②の仮払精算未記帳であることがわかったが、その他の原因は不明である。
仮払金判明、旅費交通費、租税公課	② 仮払金残高のうち、¥10,000は、従業員の出張（旅費交通費で処理する）のためのものである。従業員から現金で¥500の支払いを受けているが、精算処理が未記帳であった。 残りの¥5,000は収入印紙を購入したものであることが判明した。期末に未使用のものは残っていない。
仮受金判明、売掛金、前期貸倒れ分回収	③ 仮受金残高のうち、¥50,000は得意先からの売掛金の回収であり、残額は、前期に貸倒れとして処理された、売掛金の回収であることが判明した。
支払手形決済	④ かつて振り出した約束手形¥280,000が満期日を迎え、当座預金から決済されたが、未記帳であった。当店は取引銀行と、¥500,000を限度とする当座借越契約を結んでいる。
備品売却、未収入金	⑤ 12月1日に備品の一部（取得原価¥240,000、減価償却累計額¥70,000）を売却したが、未記帳であった。代金¥120,000は翌年1月に回収することになっている。
貸倒引当金設定	⑥ 受取手形および売掛金の期末残高に対して4%の貸倒引当金を見積もる。
期末商品残高	⑦ 期末商品棚卸高は、¥42,000であった。
消耗品残高	⑧ 消耗品の未消費残高は、¥2,600であった。購入時に消耗品勘定で処理する方法を採用している。
備品減価償却方法	⑨ 備品については全て、耐用年数5年、残存価格ゼロの定額法により、減価償却を行う。
見越繰延、受取利息	⑩ 貸付金は全て、当期の6月1日に期間1年、金利15%で貸し付けたものである。利息は元本返済時に一括して受け取る。
見越繰延、支払利息	⑪ 借入金は全て前期10月1日において、期間5年、年利10.8%、利払日は、3月31日と9月30日の条件で借り入れたものである。9月30日までの利息が計上されている。利息について適正な処理を行う。



## 例題2-解答 2/8

© 2017 Business Cross Bridge inc.

支払手形決済 ④ かつて振り出した約束手形¥280,000が満期を迎え、当座預金から決済されたが、未処理であった。当店は取引銀行と、¥500,000を限度とする当座借越契約を結んでいる。

仕訳			
借方科目	金額	貸方科目	金額
支払手形	280,000	当座預金	250,000
		当座借越	30,000

借方 残高	勘定科目	貸方 残高
117,000	現金	
	現金過不足	600
250,000	当座預金	250,000
380,000	受取手形	
270,000	売掛金	
500,000	貸付金	
15,000	仮払金	
34,000	繰越商品	
21,000	消耗品	
750,000	備品	
280,000	支払手形	292,550
	買掛金	182,700
	仮受金	60,000
	借入金	30,000 50,000
	貸倒引当金	26,000
	備品減価償却累計額	220,000
	資本金	1,000,000
	売上	1,042,000
456,000	仕入	
5,400	支払利息	1,350
76,800	旅費交通費	
2,875,200		2,875,200

資産		負債・純資産	
現金	117,000	支払手形	12,550
受取手形	380,000	買掛金	182,700
貸倒引当金		借入金	80,000
売掛金		未払費用	
貸倒引当金		資本金	1,000,000
未収入金		当期純利益	
貸付金	500,000		
未収収益			
商品			
消耗品			
備品			
減価償却累計額			



## 例題2-解答 3/8

© 2017 Business Cross Bridge inc.

期末商品残高	⑦ 期末商品棚卸高は、¥42,000であった。
消耗品残高	⑧ 消耗品の未消費残高は、¥2,600であった。購入時に消耗品勘定で処理する方法を採用している。

決算整理前残高試算表  
平成〇〇年12月31日

借方 残高	勘定科目	貸方 残高
117,000	現金	
	現金過不足	600
250,000	当座預金	250,000
380,000	受取手形	
270,000	売掛金	
500,000	貸付金	
15,000	仮払金	
42,000	繰越商品	34,000
2,600	消耗品	21,000
	備品	
280,000	支払手形	292,550
	買掛金	182,700
	仮受金	60,000
	借入金	50,000
	貸倒引当金	26,000
	備品減価償却累計額	220,000
	資本金	1,000,000
	売上	1,042,000
34,000	仕入	42,000
	支払利息	1,350
	旅費交通費	
2,875,200		2,875,200
21,000	消耗品費	2,600

損益計算書

平成〇〇年 1月1日～12月31日

(単位: 円)

売上原価	448,000	売上高	1,042,000
支払利息		受取利息	( )
旅費交通費	( )	( )	( )
( )		( )	( )
減価償却費		( )	( )
消耗品費	18,400		
固定資産売却損			
当期純利益			

貸借対照表

平成〇〇年 12月31日

(単位: 円)

現金	117,000	支払手形	12,550
受取手形	380,000	買掛金	182,700
貸倒引当金		借入金	80,000
売掛金		未払費用	
貸倒引当金		資本金	1,000,000
未収入金		当期純利益	
貸付金			
未収収益	500,000		
商品	42,000		
消耗品	2,600		
備品			
減価償却累計額			

決算整理前残高

期末金額

仕訳			
借方科目	金額	貸方科目	金額
仕入	34,000	繰越商品	34,000
繰越商品	42,000	仕入	42,000

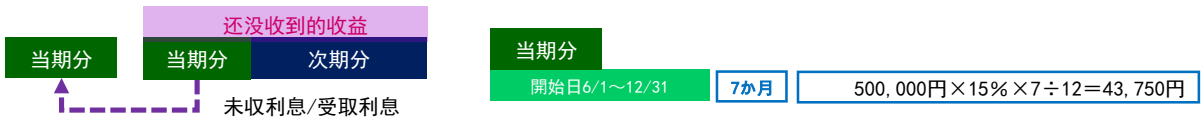
仕訳			
借方科目	金額	貸方科目	金額
消耗品費	21,000	消耗品	21,000
消耗品	2,600	消耗品費	2,600



## 例題2-解答 4/8

© 2017 Business Cross Bridge inc.

見越繰延、受取利息⑩貸付金は全て、当期の6月1日に期間1年、金利15%で貸し付けたものである。利息は元本返済時に一括して受け取る。



決算整理前残高試算表  
平成〇〇年12月31日

借方 残高	勘定科目	貸方 残高
117,000	現金	
	現金過不足	600
250,000	当座預金	250,000
380,000	受取手形	
270,000	売掛金	
500,000	貸付金	
15,000	仮払金	
42,000	34,000 繰越商品	34,000
2,600	21,000 消耗品	21,000
750,000	備品	
280,000	支払手形	292,550
	買掛金	182,700
	仮受金	60,000
	借入金	30,000 50,000
	貸倒引当金	26,000
	備品減価償却累計額	220,000
	資本金	1,000,000
	売上	1,042,000
34,000	456,000 仕入	42,000
	5,400 支払利息	1,350
	76,800 旅費交通費	
2,875,200		2,875,200
21,000	消耗品費	2,600
43,750	未收収益 受取利息	43,750

損益計算書

平成〇〇年 1月1日~12月31日

(単位: 円)

売上原価	448,000	売上高	1,042,000
支払利息		受取利息	43,750
旅費交通費	( )		
( )			
減価償却費	( )		
消耗品費	18,400		
固定資産売却損			
当期純利益			

貸借対照表

平成〇〇年 12月31日

(単位: 円)

現金	117,000	支払手形	12,550
受取手形	380,000	買掛金	182,700
貸倒引当金		借入金	80,000
売掛金		未払費用	
貸倒引当金		資本金	1,000,000
未収入金		当期純利益	
貸付金	500,000		
未収収益	43,750		
商品	42,000		
消耗品	2,600		
備品			
減価償却累計額			

## 例題2-解答 5/8

© 2017 Business Cross Bridge inc.

見越繰延、支払利息 ① 借入金は全て前期10月1日において、期間5年、年利子率10.8%、利払日は、3月31日と9月30日の条件で借り入れたものである。9月30日までの利息が計上されている。利息について適正な処理を行う。



決算整理前残高試算表  
平成〇〇年12月31日

借方 残高	勘定科目	貸方 残高	
117,000	現金		
	現金過不足	600	
250,000	当座預金	250,000	
380,000	受取手形		
270,000	売掛金		
500,000	貸付金		
15,000	仮払金		
42,000	34,000	繰越商品	34,000
2,600	21,000	消耗品	21,000
750,000	備品		
280,000	支払手形	292,550	
	買掛金	182,700	
	仮受金	60,000	
	借入金	30,000 50,000	
	貸倒引当金	26,000	
	備品減価償却累計額	220,000	
	資本金	1,000,000	
	売上	1,042,000	
34,000	456,000	仕入	42,000
1,350	5,400	支払利息	1,350
76,800	旅費交通費		
2,875,200		2,875,200	
21,000	消耗品費	2,600	
43,750	未払費用	1,350	
	未収収益		
	受取利息	43,750	

損益計算書

平成〇〇年 1月1日~12月31日

(単位: 円)

売上原価	448,000	売上高	1,042,000
支払利息	5,400	受取利息	43,750
旅費交通費	( )	( )	( )
( )	( )	( )	( )
減価償却費	( )	( )	( )
消耗品費	18,400		
固定資産売却損			
当期純利益			

貸借対照表

平成〇〇年 12月31日

(単位: 円)

現金	117,000	支払手形	12,550
受取手形	380,000	買掛金	182,700
貸倒引当金		借入金	80,000
売掛金		未払費用	1,350
貸倒引当金		資本金	1,000,000
未収入金		当期純利益	
貸付金	43,750		
未収収益	42,000		
商品			
消耗品	2,600		
備品			
減価償却累計額			

## 例題2-解答 6/8

© 2017 Business Cross Bridge inc.

仮受金判明、売掛金、 前期貸倒れ分回収 貸倒引当金設定	③ 仮受金残高のうち、¥50,000は得意先からの売掛金の回収であり、残額は、前期に貸倒れとして処理された、売掛金の回収であることが判明した。 ④ 受取手形および売掛金の期末残高に対して4%の貸倒引当金を見積もる。
-----------------------------------	--

仕訳			
借方科目	金額	貸方科目	金額
仮受金	60,000	売掛金	50,000
		償却債権取立益	10,000

受取手形的貸倒引当金:  $380,000 \times 0.04 = 15,200$

売掛金的貸倒引当金:  $(270,000 - 50,000) \times 0.04 = 8,800$

合計: 24,000

貸倒引当金残高: 26,000

決算整理前残高試算表  
平成〇〇年12月31日

借方 残高	勘定科目	貸方 残高
117,000	現金	
	現金過不足	600
250,000	当座預金	250,000
380,000	受取手形	
270,000	売掛金	50,000
500,000	貸付金	
15,000	仮払金	
42,000	34,000 繰越商品	34,000
2,600	21,000 消耗品	21,000
750,000	備品	
280,000	支払手形	292,550
	買掛金	182,700
60,000	仮受金	60,000
	借入金	30,000 50,000
2,000	貸倒引当金	26,000
	備品減価償却累計額	220,000
	資本金	1,000,000
	売上	1,042,000
34,000	仕入	42,000
1,350	5,400 支払利息	1,350
76,800	旅費交通費	
2,875,200		2,875,200
21,000	消耗品費	2,600
	未払費用	1,350
43,750	未収収益	
	受取利息	43,750
	償却債権取立益	10,000
	貸倒引当金戻入	2,000

損益計算書

平成〇〇年 1月1日~12月31日

(単位: 円)

売上原価	448,000	売上高	1,042,000
支払利息	5,400	受取利息	43,750
旅費交通費	( )	( )	
( )		貸倒引当金戻入	2,000
減価償却費		償却債権取立益	10,000
消耗品費	18,400		
固定資産売却損			
当期純利益			

貸借対照表

平成〇〇年 12月31日

(単位: 円)

現金	117,000	支払手形	12,550
受取手形	380,000	買掛金	182,700
貸倒引当金	15,200	借入金	80,000
売掛金	220,000	未払費用	1,350
貸倒引当金	8,800	資本金	1,000,000
未収入金		当期純利益	
貸付金	500,000		
未収収益	43,750		
商品	42,000		
消耗品	2,600		
備品			
減価償却累計額			

## 例題2-解答 7/8

© 2017 Business Cross Bridge inc.

✓ 備品売却、未収入金	⑤ 12月1日に備品の一部（取得原価¥240,000、減価償却累計額¥70,000）を売却したが、未処理であった。代金¥120,000は翌年1月に回収することになっている。
✓ 備品減価償却	⑨ 備品については全て、耐用年数5年、残存価格ゼロの定額法により、減価償却を行う。

仕訳			
借方科目	金額	貸方科目	金額
未収入金	120,000		
備品減価償却累計額	70,000	備品	240,000
減価償却費	44,000		
固定資産売却損	6,000		

$$240,000 \div 5 \div 12 \times 11$$

仕訳			
借方科目	金額	貸方科目	金額
減価償却費	102,000	減価償却累計額	102,000

$$(750,000 - 240,000) \div 5$$

決算整理前残高試算表  
平成〇〇年12月31日

借方 残高	勘定科目	貸方 残高
117,000	現金	
	現金過不足	600
250,000	当座預金	250,000
380,000	受取手形	
270,000	売掛金	50,000
500,000	貸付金	
15,000	仮払金	
42,000	繰越商品	34,000
2,600	消耗品	21,000
750,000	備品	240,000
280,000	支払手形	292,550
	買掛金	182,700
60,000	仮受金	60,000
	借入金	30,000
2,000	貸倒引当金	26,000
70,000	備品減価償却累計額	220,000
	資本金	1,000,000
34,000	売上	1,042,000
	仕入	42,000
1,350	支払利息	1,350
76,800	旅費交通費	
2,875,200		2,875,200
21,000	消耗品費	2,600
43,750	未払費用	1,350
	未収収益	
	受取利息	43,750
	償却債権取立益	10,000
120,000	貸倒引当金戻入	2,000
	未収入金	
102,000	固定資産売却損	6,000
	減価償却費	

損益計算書

平成〇〇年 1月1日～12月31日		(単位: 円)	
売上原価	448,000	売上高	1,042,000
支払利息	5,400	受取利息	43,750
旅費交通費	( )	( )	
( )		貸倒引当金戻入	2,000
減価償却費	146,000	償却債権取立益	10,000
消耗品費	18,400		
固定資産売却損	6,000		
当期純利益			

貸借対照表

平成〇〇年 12月31日		(単位: 円)	
現金	117,000	支払手形	12,550
受取手形	380,000	買掛金	182,700
貸倒引当金	15,200	借入金	80,000
売掛金	220,000	未払費用	1,350
貸倒引当金	8,800	資本金	1,000,000
未収入金		当期純利益	
貸付金	500,000		
未収収益	43,750		
商品	42,000		
消耗品	2,600		
備品	510,000		
減価償却累計額	252,000		





## 例題2-解答 8/8

© 2017 Business Cross Bridge inc.

- ✓ 現金調整、雑損/雑益 ① 現金過不足の原因の一部は、②の仮払精算未記帳であることがわかったが、その他の原因は不明である。
- ✓ 仮払金判明、旅費交通費、租税公課 ② 仮払金残高のうち、¥10,000は、従業員の出張（旅費交通費で処理する）のためのものである。従業員から現金で¥500の支払いを受けているが、精算処理が未記帳であった。残りの¥5,000は収入印紙を購入したものであることが判明した。期末に未使用のものは残っていない。

借方科目		仕訳		貸方科目		金額	
現金過不足	500	仮払金	10,000				
旅費交通費	9,500						
現金過不足	100	雑益	100				

現金過不足	
500	600

借方科目		仕訳		貸方科目		金額	
租税公課	5,000	仮払金	5,000				

決算整理前残高試算表  
平成〇〇年12月31日

借方 残高	勘定科目	貸方 残高
117,000	現金	
600	現金過不足	600
250,000	当座預金	250,000
380,000	受取手形	
270,000	売掛金	50,000
500,000	貸付金	
15,000	仮払金	10,000
42,000	繰越商品	34,000
2,600	消耗品	21,000
750,000	備品	240,000
280,000	支払手形	292,550
	買掛金	182,700
60,000	仮受金	60,000
	借入金	30,000
2,000	貸倒引当金	26,000
70,000	備品減価償却累計額	220,000
	資本金	1,000,000
	売上	1,042,000
34,000	仕入	42,000
1,350	支払利息	1,350
9,500	旅費交通費	
2,875,200		2,875,200
21,000	消耗品費	2,600
43,750	未払費用	1,350
	未収収益	43,750
	受取利息	10,000
120,000	償却債権取立益	2,000
	貸倒引当金戻入	
	未収入金	6,000
102,000	固定資産売却損	
44,000	減価償却費	100
5,000	雑益	
	租税公課	

損益計算書

平成〇〇年 1月1日～12月31日		平成〇〇年 1月1日～12月31日	
売上原価	448,000	売上高	1,042,000
支払利息	5,400	受取利息	43,750
旅費交通費	86,300	(雑益)	100
(租税公課)	5,000	貸倒引当金戻入	2,000
減価償却費	146,000	償却債権取立益	10,000
消耗品費	18,400		
固定資産売却損	6,000		
当期純利益	382,750		
	1,097,850		1,097,850

貸借対照表

平成〇〇年 12月31日		平成〇〇年 12月31日	
現金	117,000	支払手形	12,550
受取手形	380,000	買掛金	182,700
貸倒引当金	15,200	借入金	80,000
売掛金	220,000	未払費用	1,350
貸倒引当金	8,800	資本金	1,000,000
未収入金	120,000	当期純利益	382,750
貸付金	500,000		
未収収益	43,750		
商品	42,000		
消耗品	2,600		
備品	510,000		
減価償却累計額	252,000		
	1,659,350		1,659,350



## 例題2-解答

© 2017 Business Cross Bridge inc.

### 損益計算書

平成〇〇年 1月1日～12月31日

(単位: 円)

売上原価	448,000	売上高	1,042,000
支払利息	5,400	受取利息	43,750
旅費交通費	86,300	(雑益)	100
(租税公課)	5,000	(貸倒引当金戻入)	2,000
減価償却費	146,000	(償却債権取立益)	10,000
消耗品費	18,400		
固定資産売却損	6,000		
当期純利益	382,750		
	<u>1,097,850</u>		<u>1,097,850</u>

### 貸借対照表

平成〇〇年 12月31日

(単位: 円)

現金	117,000	支払手形	12,550
受取手形	380,000	買掛金	182,700
貸倒引当金	15,200	借入金	80,000
売掛金	220,000	未払費用	1,350
貸倒引当金	8,800	資本金	1,000,000
未収入金	120,000	当期純利益	382,750
貸付金	500,000		
未収収益	43,750		
商品	42,000		
消耗品	2,600		
備品	510,000		
減価償却累計額	252,000		
	<u>1,659,350</u>		<u>1,659,350</u>

